

HI FROM

SAGA

by SUIISA ニュースレターチーム and 佐賀大学国際交流推進センター

トピック

コロナ禍でのイベントについて

AUTUMN2020Vol.5

☎+81-952-28-8169


✉ryugaku@mail.admin.saga-u.ac.jp

🌐 <http://www.irdc.saga-u.ac.jp/>

コロナ禍でのイベント

10月24、25日に、佐賀城公園で、文化芸術及びスポーツに関する4つのイベント「佐賀さいこうフェス2020」、「タイフェスティバル in SAGA 2020」、「さが維新まつり」及び「3x3 Basketball SAGA Super Games 2020 3x3 バスケット」が開催されました。

長い間、新型コロナウイルスのパンデミックにより静まり返っていた佐賀に、また賑やかさが戻りました。

佐賀さいこうフェスは2016年から毎年開催されていて、今年で5回目の開催でした。 「佐賀の“再興”」と「“最高”の佐賀」をテーマとしたアートと音楽の祭典。第一線で活躍するミュージシャンのライブステージやアートパフォーマンス、アーティストと参加者が一緒に作品を作るワークショップが開催されました。

タイフェスティバルは、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を契機に、佐賀県がホストタウンとなっているタイとの文化交流を図るイベントです。タイのグルメ、ワークショップ、舞踊やムエタイ等の文化発信ステージをはじめ、佐賀県の伝承芸能ステージなど、盛りだくさんの内容でにぎわいを見せました。

さが維新祭りは今年で3回目の開催で、佐賀の偉業・偉人を顕彰し、未来へとその「志」を繋いでいくおまつりです。今回は規模を縮小し、佐賀さいこうフェスのプログラムの中で実施されました。今年は、新型コロナウイルス感染拡大防止に尽力されている医療従事者の皆様へ感謝と敬意を表そうと、佐賀から日本の医療に新たな風を吹き込んだ偉人たちにスポットをあてたプログラムが実施されました。3x3(スリーエックススリー)バスケットは佐賀の街中で行われる3人制バスケットのイベントです。実際に駐車場にコートを設置し、プロ選手たちの力強くスピード感あふれるプレーを間近に体感することができました。今年はコロナ禍での開催ということで、様々な感染防止策が実施され、今までとは違う雰囲気の中それぞれのイベントは大いに盛り上がりました。その後佐賀県における新型コロナウイルス感染拡大は見られませんでした。コロナと共存していかなければならないこれからの社会における大規模イベントの在り方を人々が理解して、感染防止に重点をおいた行動がとれたといえるかもしれません。



また、タイフェスティバルのところで少し触れましたが、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会における佐賀県のホストタウン相手国には、タイの他に オランダ、ニュージーランド、フィジー、フィンランドがあります。2020 年に向けて、佐賀県 では、「佐賀文化プログラム推進プロジェクト」として、海外との文化交流を通じた 文化プログラムを推進することにより、佐賀県の魅力を国内外に発信すると同時に、県民と 海外各国とのお互いの文化に対する相互理解を深め、交流人口の拡大、地域の活性化等を 図ってきました。オリンピックが 2020 年夏の開催から 1 年延期になったことと伴い、佐賀県 でのホストタウン相手国との文化プログラムによるイベントはまだまだ開催が続いているようです。直近では、2020 年 12 月 12、13 日に、どんどんの森、アバンセでフィンランド フェアが開催される予定です☆詳しいことについて、佐賀文化プログラム推進プロジェクトの ホームページから見ることができます。これからもわくわくするような楽しいイベントが待ってますが、このようなイベントが開催できるのも、コロナウイルス感染の拡大防止のための行動ができてからでしょうか。佐賀県は 一時期、コロナウイルスの新規感染者が 0 である日が続きましたが、7 月 20 日あたりから 8 月 15 日にかけて感染者が急上昇し、また 9 月以降に感染者数が少なくなりました。この期間は、夏季休業期間と重なっていますね。これから、冬季休業がありますが、一人ひとりが意識を高め、感染防止に注意した行動をとりましょう。



サークル団体「LIFE」による国際交流イベント

通常、新学期の初めには、佐賀大学の新留学生のためのウェルカムパーティーが開催されますが、残念ながら今年は新型コロナウイルス感染防止のため、開催が困難でした。授業はオンラインで開講されていますので、私たちが普段授業で使用している WEBEX プログラムを通して、国際交流サークル『LIFE』は、今学期佐賀に来る予定だった学生と、現在の佐賀大学の留学生が初めて会うことができる

「オンライン国際交流ミーティング」を企画しました。今回はなんと、LIFE の代表である合力結香さんにインタビューすることができました。以下はインタビューの内容です！



INTERVIEW

Q1: 自己紹介と LIFE での業務を教えてください。サークルは今年は何年目ですか？



A: 佐賀大学経済学部 3 年の合力結香です。1 年生の時に LIFE に入ったので、今年で 3 年目になります。今年から LIFE の代表をしています。

Q2: LIFE は何のサークル、(コロナウィルス前) どういう活動を行っていましたか??

A: LIFE は主に、国際交流イベントを主催して、留学生と日本人学生の交流の場を作ること目的としています。コロナ禍以降は留学生の数も減ってしまい、なかなか普段通りの活動が出来ていませんでしたが、10月に初めてオンラインでのイベントを開催しました。

Q3: オンラインでの国際交流イベントのきっかけは何でしょうか？

A: コロナ禍において、予定していた留学が無くなってしまった学生や、日本に来られなくなってしまった学生、また、国際交流をしたことがない 1・2 年生向けになにか自分にできることをしたい、と思っていました。国際課の北村さんにオンラインイベントのお話をいただいて、LIFE と国際課の共催でイベントを開催することになりました。

Q4: オンラインイベントに参加した学生は何人くらいいましたか。また、どのような活動をしましたか。

A: 参加してくれた学生は、日本人が 10 人程度、外国人留学生が 15 人でした。イベントでは、自己紹介をしたり、おしゃべりをしたり、ミニゲームをして楽しみました。

Q5: コロナウイルス前に行われていた LIFE の対面型のイベントとオンラインイベントはどう違うと思いますか。オンラインイベントは難しいですか？

A: やはり、対面とオンラインとでは、イベントの開催の仕方がまず大きく違いますね。オンラインイベントでは、海外にいる学生の参加が可能だった等のメリットはありましたが、インターネットや Wi-Fi 環境の問題など、技術的な問題も見えてきましたね。



ONLINE INTERNATIONAL MEETUP

Q6: 最後に、今期佐賀大学に入学した留学生に一言をお願いします！

A: ようこそ佐賀大学へ！留学生の皆さんは、留学先として佐賀大学を選んでくれてありがとうございます。新型コロナウイルスがなければ、皆さんと直接交流できていたと思いますが、このような状況で、お互いに不自由な環境ですが、前向きに頑張りましょう！LIFE がイベントを開催する時は是非参加してくださいね！インタビューはこれで以上です。早く皆さんに会いたいです。次の冬号を楽しみにしてください！

編集

松本陽美、先進健康科学研究科一年

中島暁月、芸術地域デザイン学部芸術表現コース三年

アラパービームマパット、工学系研究科システム創生科学博士課程一年

高田章太郎、経済学部経済学科一年

